

「出血と血栓—死亡ゼロを新時代の先生とともに」

大和高田市立病院 川口 千晴（学会幹事・評議員）

若い新生児科医の先生方においては、新生児の呼吸・循環管理は診療の花形で、一方、血液疾患は地味に感じ興味を持っておられない方が多いのではないのでしょうか。しかし、新生児がいったん出血を起こすと、とたんにNICUは戦場と化すという苦い経験は、誰しも遭遇されたことがあるでしょう。新生児の血液疾患においては、呼吸・循環管理にも劣らず緻密で繊細なコントロールが必要とされます。新生児科医の知識不足によって、新生児の予後は大きく変わってしまい、予防できたはずのイベントも発症してしまうこととなります。新生児の血液凝固の調節は、実は全身管理と深く関わっていて知れば知るほどその重要性に気付かされるはずです。

しかし、悲しいことに新生児関連の学会では呼吸や循環分野がメインに取り扱われることが多く、新生児の血液分野を勉強したくてもその機会に恵まれないことも少なくありません。日本産婦人科・新生児血液学会は、母児の出血と血栓による死亡ゼロを目指して、産婦人科と新生児科医が互いに膝を突き合わせ、学び合える学会です。そこには、著名な先生方がすぐ横で熱く語り合っておられ、直接貴重なご意見も伺うことができます。

私も新生児血液の奥深さに惹かれた一人ですが、平成16年に研究内容などを発表した際に、思いがけず最優秀演題賞（真木賞）を受賞することができました。その場には教科書でいつも名前を拝見する著名な先生方が目の前におられ、フロアでも直接たくさんのご意見を頂戴することができ、ますますもっと勉強したいという意欲に駆られたことを覚えています。若い先生方も、是非一度学術集会に参加して、本学会がアットホームな雰囲気の中で、臨床から研究にわたる広い分野で互いに高め合いながら活動している姿を見ていただければ幸いです。そして、さらに学会を盛り上げてもらえることを期待しています。新時代の先生方のご参加を心よりお待ちしております。